

第 68 回土木学会全国大会 国際関連イベント速報

平成 25 年 9 月 4 日～6 日の間、第 68 回土木学会全国大会が日本大学生産工学部（津田沼キャンパス）にて開催されました。その中で国際関連のセッションやイベントがいくつか開催されました。詳細は 10 月発刊の国際センター通信第 13 号に譲りますが、主なものを簡単に紹介いたします。

1. The 15th International Summer Symposium (9/4～9/6 8:40～10:10、10:25～11:55 開催)



第 15 回インターナショナルサマーシンポジウムが 3 日間にわたり開催されました。全国大会年次学術講演会国際セッションとして実施し、日本に滞在中の外国人留学生やエンジニアを中心に、67 編の投稿があり、合計 12 の各セッションで発表が行われました。各セッションとも活発な議論がなされ、参加者間で有意義な情報交換が行われました。

(左写真) 研究発表の様子

2. 海外支部会議 (9/4 11:00～12:30 開催)

土木学会海外支部からの代表および国際部門担当理事、国際センター長、次長が参集し、直近の活動状況や活動計画について報告がなされました。また、情報グループの小早川リーダーが、海外分会との相互の情報提供と発信について協力を依頼しました。



(右写真) 海外支部会議 各国挨拶の様子

3. 国際パネルディスカッション (9/4 12:40～15:55 開催)



今回は「持続可能な社会を実現する社会インフラの適切な維持管理・更新」をテーマとしてパネルディスカッションを開催しました。

東京大学の家田教授を座長として、アメリカ土木学会(ASCE)の Mr. Gregory E. DiLoreto 会長など海外から 5 名のパネリスト、2 名のコーディネーターを招へいし、活発な意見交換が行われました。会場からも積極的な質問がなされました。

(左写真) パネルディスカッションの様子

4. 第 7 回 JFES-JSCE-AIJ-WFEO 合同ジョイント国際シンポジウム (9/5 9:00～12:00 開催)

第 7 回自然災害リスク管理に関する日本工学会 (JFES)・土木学会 (JSCE)・日本建築学会 (AIJ)・世界工学団体連盟 (WFEO) 合同ジョイント国際シンポジウムが開催されました。

講演者から洪水、地震、津波など日本でも被害に見舞われる災害への対策や、災害を軽減するための技術等について紹介がなされました。

講演終了後は、参加者と講演者の間で熱心な質疑応答がなされました。



石井 WFEO 副会長開会挨拶

5. Workshop for Young Engineers (9/5 13:00~17:45 開催)



グループ討論の様子

若手技術者国際ワークショップを来年の100周年記念で実施するワークショップのプレ会議と位置づけ開催しました。”Your Career as a Civil Engineer and Our Future Society”をテーマに、留学生、日本人学生および技術者、計33名が参加、6グループに分かれ、各グループで土木技術者としての将来のキャリアパスや社会貢献に関して議論し、その結果を参加者全員がそれぞれ1分間プレゼンテーションとして報告しました。

6. 海外ゲストテクニカルツアー (9/5 13:00~16:00 開催)



今回のテクニカルツアーは、NEXCO 東日本のご協力をいただき、東京外かく環状道路京葉ジャンクション現場見学を行いました。その後、東関東道浜町南高架橋にて先端機器を用いた点検現場を見学しました。

20数名の海外ゲストの参加があり、限られた時間ではありましたが写真撮影をしたり、担当者に質問をしたりするなど充実した時間を過ごしてもらいました。

(左写真) 東京外かく環状道路京葉ジャンクション現場見学